

# 平川市尾上分庁舎改修工事設計業者選定プロポーザル

## 選定結果及び審査講評

令和5年7月27日

平川市尾上分庁舎改修工事設計業者選定委員会

平川市尾上分庁舎改修工事設計業者選定プロポーザルの審査において、実施要領に基づき各提案者を厳正かつ公平に審査した結果、最優秀提案者及び次点提案者を選定したので、次のとおり講評する。

令和5年7月27日

平川市尾上分庁舎改修工事設計業者選定委員会

委員長	北原 啓司
副委員長	古川 洋文
委員	岡本 真
委員	土井 良浩
委員	成田 一輝
委員	對馬 謙二
委員	原田 茂

## 1 審査の経過

平川市尾上分庁舎改修工事に係る設計業務の受注者を選定するため、令和5年5月24日に平川市尾上分庁舎改修工事設計業者選定委員会（以下「委員会」という。）を設置し、プロポーザルに係る実施要領及び改修方針について審議・決定のうえ、設計業者を広く全国から募集することとした。

同日、本プロポーザルを公告したところ、6月14日までに5者から応募があり、事務局にて参加資格の確認を行い、6月16日に全者へ参加承認通知を行ったものである。

技術提案書等は7月7日までに全者から提出され、7月15日、第1回選定委員会を開催し、技術提案書等審査書類を評価要領に基づき評価したところ、上位3者を第二次審査対象者と決定したものである。

7月22日、一般の方を対象として公開プレゼンテーション及びヒアリングを平川市生涯学習センターで開催し、各提案者から技術提案書の具体的な説明並びに選定委員による質疑応答により提案内容を確認した。終了後ただちに別室で開催した第2回選定委員会において、委員の合議により、最優秀提案者及び次点提案者を決定した。なお、公開プレゼンテーション及びヒアリングは市内外より27名が傍聴し、会場には審査対象となる3者の技術提案書を掲示したものである。

## 2 選定結果の概要

### (1) 第一次審査結果

#### ・評価項目

実施体制及び技術提案書における「平川市尾上分庁舎基本ポリシー及びコンセプト」への理解度など、評価要領に基づき審査を行い、委員1人160点、委員7人の合計1,120点満点により評価した。

・選定結果

850点付近に上位3者が並ぶ拮抗した状態となり、第3位と第4位は点差が大きかったことから上位3者を第一次審査通過者とした。

提案者	評価点数合計
提案者A	482
提案者B	847
提案者C	851
提案者D	833
提案者E	746

(2) 第二次審査結果

第二次審査では、第一次審査における提案者Bを発表者1、提案者Cを発表者2、提案者Dを発表者3とし審査を行った。審査結果は以下のとおり。

最優秀提案者 発表者2（提案者C） 石川設計・蟻塚・ゲンジ設計共同企業体

次点提案者 発表者1（提案者B） 畝森・teco 設計共同体

(3) 最優秀提案者の選定理由

最優秀提案者については、地域理解が抜群であることと、利活用に係る基本ポリシー及びコンセプトへの理解度が高く、住民がこの施設をどのように利用していくのかについて、かなり具体的に描かれていた。一つ一つのストーリーに基づいて設計の方向性が語られており、委員会でも高評価であった。

運営面においては、市民ニーズを捉え、チャレンジショップ出店者を含め今後の運営に携わってくださるような方々とのネットワークの形成や、開庁後の様々なプログラムの展開について一番可能性を感じる内容であった。また、冬場の活動・利用についても現実的な提案がされていた。

支所機能の配置や各エリアのゾーニング、動線の確保についても、委員会で高評価を得ており、実現可能性が高く、効率的な利用も見込まれることに加え、完成後のイメージが湧くという意見が委員から挙げられていた。

最優秀提案者にあっては、新たな尾上分庁舎が、今後も長年にわたり多くの人々が集う場所、賑わいを生むような施設となるように市と協議を進め、よりよい設計としてまとめられることを期待したい。

一方、次点提案者については、これまでの実績については申し分なく、提案内容については、冷暖房効率等にも言及されており、建築の提案としてはかなり評価が高いものであることから次点とした。